

「2024年度秋季研究発表大会」のお知らせ

更新履歴

8月4日：「2024年度秋季研究発表大会」のお知らせを公開

9月12日：要旨投稿期限を9/23まで延長、査読用予稿提出期限のバリエーションを追記

第38回 国際P2M学会 研究発表大会 The 38th Congress of International P2M Association

2024年度の国際P2M学会秋季研究発表大会を、下記の要領にて開催いたします。つきましては、会員の皆様の研究発表を募集いたします。発表ご希望の会員は、今後ご案内する申し込み要領をご参照のうえ、期限までにお申し込みください。本大会は青山学院大学（青山キャンパス）における対面とオンラインのハイブリッド形式にて開催いたします。

1. 開催日・形式

- 開催日 : 2024年11月9日（土）
開催校 : 青山学院大学 青山キャンパス
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
開催形式 : 会場と配信のハイブリッド
受付開始時刻・場所 : 8:50
最寄駅 : JR山手線、JR埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ副都心線 他
「渋谷駅」より徒歩10分
東京メトロ（銀座線・千代田線・半蔵門線）「表参道駅」より徒歩5分
アクセスマップ : <https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html>
キャンパスマップ : <https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html>

※発表方法や参加方法の詳細は、決定次第本学会のHP上に掲載するとともに、オンラインでの参加方法は研究発表大会参加申込者にメールにて送信します。

2. 開催団体に関する情報

- 主催：一般社団法人 国際P2M学会（※）
共催：青山学院大学
会長：国際P2M学会会長 亀山秀雄
大会実行委員長 : 玉木欽也（青山学院大学経営学部教授）
大会実行副委員長 : 中邨良樹（青山学院大学経営学部教授）
大会実行委員 : 薄上二郎（青山学院大学経営学部教授）
大会実行委員 : 高松朋史（青山学院大学経営学部教授）
※一般社団法人 国際P2M学会：国際P2M学会事務局 〒162-0801東京都新宿区山吹町358-5
アカデミーセンター（平日：10時～17時）TEL: 03-6824-9371/FAX:03-5227-8631

3. 大会スケジュール： ※ 都合により、変更される場合があります。

- 9:20 - 12:40 研究発表（研究発表プログラムは、10月中旬頃に決定予定）
12:40 - 13:30 昼食休憩
13:30 - 13:45 開会挨拶 亀山秀雄 氏（国際 P2M 学会会長）
開催校挨拶
オープニング 玉木欽也 氏（大会実行委員長）
13:50 - 15:35 基調講演（3 件、30 分/件）
15:35 - 15:50 基調講演の内容に基づいたディスカッション
15:50 - 16:05 休憩
16:05 - 17:35 ラウンドテーブル（3 グループ）
17:35 - 17:45 休憩
17:45 - 18:00 ラウンドテーブルからの報告
18:00 - 18:10 次回発表大会の予告
閉会挨拶 白井久美子 氏（国際 P2M 学会副会長）
午後に開催するラウンドテーブルでは、テーマを3つ設定し、各テーマに別れて発表や議論を行います。ラウンドテーブルで議論した内容は、「ラウンドテーブルからの報告」の時間に共有します。

4. 研究発表大会参加費関連

- ◆ 大会参加費：今大会の参加費支払いは 全て事前振込みのみにて受け付けます。

会員	： 正会員、法人会員に所属の方	9,000 円
	： 学生会員	3,000 円
非会員	： 社会人、社会人学生	12,000 円
	： 学生、大学院生	5,000 円

下記学会の銀行口座宛にお振込下さい。（振込最終締切：2024 年 11 月 1 日（金））

11 月 2 日（土）以降は、参加申込ならびに参加費振込の受付は致しません。

また、10 月 25 日（金）迄に未振込の場合は、投稿論文を予稿集に掲載致しません。

※ 予稿の筆頭著者（当日の発表者）は、国際 P2M 学会会員に限られます。当学会に未加入の方は、遅くとも 2024 年 10 月 25 日（金）までに入会手続きを済ませてください。新規入会には、上記参加費とは別に、正会員が 12,000 円（入会金 2,000 円、年会費 10,000 円。社会人学生を含みます）、学生会員が 6,000 円（入会金 1,000 円、年会費 5,000 円）、必要となります。

尚、入会費の振込み先は ホームページ及び入会申請フォームに記載の「ゆうちょ」口座です。大会参加費振込口座とは異なりますのでご注意ください。

入会手続きの詳細は、学会ホームページから、こちらをご覧ください

→ <http://iap2m.org/accept>

◆ 基調講演・ラウンドテーブルのみ参加費用

会員・非会員とも : 3,000 円

◆ 情報交換会費用 : 4,500 円【当日払い : 5,500 円】

◆ 大会参加費振込み先銀行口座 :

三井住友銀行 (銀行コード : 0009)

飯田橋支店 (店番号 : 888)

普通預金 (口座番号 : 7098073)

口座名義 (一般社団法人 国際 P2M 学会)

※大会参加費の領収書は、大会開催後、全員に領収書 (PDF) をメールで送付いたします。宛先の指定がない場合は本人宛の領収書になりますので、ご注意下さい。

◆ 留意事項

※ 振込済みの参加費は、不参加の場合でも返金できません。

5. 参加申し込み方法

◆ 参加申込期限 :

論文投稿者 10月25日 (金) 迄に申込み登録を済ませてください。

大会参加のみの方 : 参加費振込の締切 11月1日 (金) 迄に申込登録を済ませてください。

◆ 研究発表大会参加申込みはこちらから (注. 発表者も、申込み登録が必要です)

https://www.iap2m.org/regist_taikai.html

◆ 参加登録に関する参考情報

ブラウザが Internet Explorer の場合、バージョンが新しいと無応答になる場合があります。

次の操作を参考にして下さい。 <http://www.iap2m.org/pdf/ie201309.pdf>

6. 発表者への要旨と予稿の投稿登録に関するご案内

◆ 要旨の投稿期限及び方法 : これに基づく研究発表プログラムは別に掲載します。

要旨の投稿期限 : 2024年9月23日 (月) 23時59分

投稿方法 : 要旨は、次の URL から、Web 登録画面に従い入力して下さい。

http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html

査読選択 : 予稿論文の審査を希望される方は、査読希望「●有」を画面上で選択して下さい。

尚、採択後の論文の学会誌掲載料は 30,000 円です。

投稿形式 : スライド形式のみの予稿も歓迎します。但し、その場合、査読は選択できません。

◆ **発表予稿投稿期限 : 2024年10月12日 (土) 18時**

(厳守 ※締切後の投稿は一切受け付けられません。)

投稿方法 : 要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。それに従い、MS-Word および PDF 形式の予稿を投稿して下さい。

◆ 受付メール確認のお願い

要旨及び予稿投稿締切後、編集委員より受付メールを登録アドレス宛に送信します。

なお「(at)iap2m.org ((at)を@に読みかえてください。)」のドメインから届くメールが、迷惑メールフォルダに入らないように設定してください。万が一、着信しなかった場合は、下記学会事務局宛にお問い合わせ下さい。

国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

◆ 査読を希望される方へ：

査読論文：当学会では、予稿が査読論文として審査されます。ただし、発表された論文に限ります。

頁数：最大 20 ページ

論文形式：本学会 HP「学会論文関連情報」（下記 URL）にある規程等（「国際 P2M 学会誌投稿規程」、「学会論文投稿規程補足」ほか）を遵守してください。また「学会論文サンプル」も下記 URL に掲載されていますので、ご活用ください。

学会論文関連情報：<http://iap2m.org/ronbun-info/>

補足：（1）予稿集に掲載された論文は、辞退などにより発表されなかった場合も、同じ内容では再投稿はできません。

（2）予稿に P2M との関連性と関連参考文献を明記願います。

当学会の過去の論文誌は、J-stage から閲覧できます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iappmjour/-char/ja>

（3）論文執筆経験が浅い方は、「9. P2M セミナー動画の掲載」にある Youtube 「IAP2M チャンネル」にある論文の書き方に関する動画を視聴するほか、学術論文作成経験者から論文作成の指導を受けることをお勧めします。

またスライドではなく論文を予稿として投稿される方は、英文要旨（または英文本文）について、可能な限り英文としての品質向上に努めて下さい。

◆ **予稿提出期限**：発表時のコメントなどを参考に今大会で提出された予稿を改訂し、次期大会に査読用論文として提出できます。

（1）研究発表大会の発表者は、要旨を提出する際、査読希望の有無を申告する（今までと同じ）

（2）査読を希望する発表者は、今大会の予稿論文を期限までに提出する（今までと同じ）

（3）査読を希望する予稿提出者は、a) その予稿論文で査読を希望するのか、b) 改めて提出する修正研究論文の査読を希望するのか、を予稿提出時に選択する。

（4）上記3.b)の修正研究論文（但し、論文タイトルと要旨の変更は予稿と同じでなければならない）は、次の大会の予稿提出期間中（次大会の要旨提出締切日～予稿提出締切日の間）に提出されなければならない。

（5）査読部会と編集委員長は、次期大会の論文審査時に、上記3.b)の論文を含めて審査する

◆ **投稿方法（補足）**：要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。そのメールの中に、予稿投稿期限を a) か b) のどちらにするか確認する案内を記載しておきます。その記載内容にしたがって予稿を投稿してください。

◆ **発表方法**：発表者に対して別途メールにて連絡いたします。会場での発表、遠隔地よりオンラインでの発表より選択可能です。議論を活発にするため会場での対面での発表を推奨しますが、オンラインによる発表であっても査読に不利になるなどの影響は全くありません。

◆ **発表時間（予定）**：発表 15 分以内、質疑応答 5 分（全体で 20 分以内）

◆発表奨励賞：受賞者を選出し 12 月中旬頃に学会ホームページ上に掲載し表彰します。

7. P2M セミナー動画の掲載

国際 P2M 学会では、P2M の基礎知識、事例による P2M の理解、適用事例や、論文の書き方について、本学会ベテラン講師陣が分かりやすく解説した次のセミナー動画（YouTube）を作成しています。P2M に関する知識を深めたい方、論文執筆経験の浅い方など、広くご視聴いただければ幸いです。

詳しくは、次のリンクをご参照ください。

<http://iap2m.org/youtube/>

8. お問い合わせ先：国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>